



## 平成 29 年度の活動を振り返って

代表 海老原英子

平成29年度の本会の活動を振り返ってみますと、全会員が積極的に事業に参加して大きな成果があげてくださった年であったことを大変うれしく感謝しております。

### 薬膳カレンダーは会員みんなのもの

特別講演会で配布した薬膳カレンダーのレシピと料理は、研究1・2教室の有志の方々が「季節の薬膳」の知識を結集した貴重な資料となりました。また薬膳カレンダーの販売にも全員の協力により11月末には1000部を完売いたしました。収益は15周年記念事業で使わせていただきます。

### 会報「さんざし」から会員の顔が見える

会報「さんざし」は今までの殻を破り、写真を多く取り入れ見て楽しめるスタイルに編集が変わりました。教室紹介では「上手な料理写真の撮り方」の講習会に参加し、知識と技術を習得した成果が十分に発揮されています。毎月開催される教室で真剣に講義を聞いている様子や楽しい調理実習、和やかな試食風景などが手に取るように伝わってきます。昨年12月に開催された全体役員会に出席した役員の方々からも好評を得て担当者の日頃の苦労も報われたのではないかと実感しました。今後とも原稿依頼は快く引き受け、会員による会員のための「さんざし」制作に協力をお願いいたします。

### ホームページは確かな情報源に

念願のホームページのリニューアルは勝家秀治様(クリエイティブスタジオネットワーク)に依頼し、副代表やホームページ管理部の役員を中心に作業が進められ、今年3月にリニューアルオープンの予定です。

多くの会員の方はインターネットから健康・医療・栄養および薬膳の情報などを求めていると思いますが、残念ながら薬膳に関しては良質なサイトはなかなか見当たらないように思います。そこで管理栄養士・栄養士のための薬膳普及活動を開始して15年という実績をもつ東京栄養士薬膳研究会が積極的に正確な薬膳情報を発信する使命を果たすべきではないかと考えました。とかく顔が見えないインターネット社会において情報を発信する側の団体の高い信頼度とそれを利用する側の人たちとの信頼関係は非常に重要であると思います。

本会のホームページは自分のレベルに応じて中医薬膳学の基礎知識を選択したり、またレベルアップのために必要な中医学理論と弁証に基づいた薬膳処方と薬膳レシピまで修得することができる内容になっています。紹介している薬膳は会員の皆さんが各教室で自主研究課題として実際に実習した料理を提出したものです。ほかに本会が実施する中医師による研修会と合わせて薬膳を真摯に学び続けますと「栄養と薬膳」の専門家として新たな活動分野が期待できるでしょう。これからも薬膳に関心をもつ管理栄養士・栄養士のニーズに応え、常に質の向上とキャリアアップを支援し続けるためにホームページから「行事や研修会のお知らせ」「薬膳の新情報」など役に立つ情報を発信していきたいと考えています。

私的なことですが、私は茨城から東京都内に出かけることが多く、車中やちょっとした空き時間にスマートフォンから本会のホームページや栄養や医療に関する情報などを便利に活用しています。

### 東京栄養士薬膳研究会は会員が支えている

2001年に文部科学省が医学部教育に東洋医学の基礎的な学習を取り込むよう指導した結果、東洋医学(中医学)を研究する大学が増え、医学部の付属病院を中心に漢方外来が設立されました。その結果、東洋医学に関心をもつ人や漢方薬による治療を希望する患者が増えてきました。このような状況下で東京栄養士薬膳研究会は2003年に栄養士のための薬膳教室を開催いたしました。それ以来、薬膳に対する関心が非常に強く純粋に学びたいという会員の皆さんの熱意が教室を支え、本会の組織は盤石なものへと発展して参りました。現在300名近い方が在籍していますが、この研究会は実は皆さんひとりひとりのものと意識して次の世代へと引き継がれるよう協力して欲しいと願っています。

### 30年度も一歩前進、新しいチャレンジを期待します

東京栄養士薬膳研究会では会報やホームページの内容を整え価値のある情報を提供するよう努力していますので、会員の方々もぜひご意見や要望をお寄せください。